方針を討議した、議事の内

リンニ日波関連)消却

スの軍備充實方針等に觸み一つ、極東における最近の實状、英米の難壓計畫、ブラン・情强化、海軍の機戒を觸るランコ軍の完全なる勝利穣・高建艦計畫及び院海軍の装得を促進する・一、極東に対極的援助を與ヘフ・在地中海の間海綿把握に重適の大量補給によりフラン・イタリトは當面の目標とし

獨國防相辭表提出

一、ゲーリング空相が暫定的 で軍次官が傾肋相に就任する な軍次官が傾肋相に就任する

フ陸軍總司令も辭意

A LA THE PERSON NAMED IN 9

ンク四级 縦より太 の指揮す

上海に又て

手榴彈

に投擲さる

佐久間部隊

野健一、一つてゐる、

を動いて目覚しく続けられて 近散残兵、振威の掃蕩は寒風 を動いて目覚しく続けられて

一時間の後敵に大打撃を與へこれを南方山地に潰走せしめた。の職師に於ける匪側のため、の職師に於ける匪側の情害は遺棄兵體三十四、遺棄死馬二十四、小統十二、同彈業入百七十七、拳銃三、同彈 分頃匪城百八十と遺

弾帶、停單、被服勢多數に上 一等兵館田軍蔵南氏

ら○○部骸下士官集合所に於英電慰霊祭は三日午後三時か死馬二頭を出した、右兩氏の死馬二頭を出した、右兩氏の 務官大連着

「上海四日設園建」四日早晩 であれ、大普響と共に爆設、 があれ、大普響と共に爆設、 はられ、大普響と共に爆設、 であれ、大普響と共に爆設、 はいる。 に突如手檜弾を投

と共に目下犯人嚴操中である 体の討伐行動中去る三十一日 地に出動し附近の墜痩に當る 間討伐縣は連日に亘り不眠不 地に出動し附近の墜痩に當る 間討伐縣は連日に亘り不眠不 皮那人一名負傷、急職により 一男士戦死

一て盛大に執行さ

率天經由北京に向つた大連着、直ちにあじあ

あに連絡

行は三日入港の黒龍丸で

對支海運

一強化の為

國策

臂祉を設立

大野駐支財

友斯刀、山

じた外交官である



陸戦隊

市中軍事施設を接收 施台占領

もので、 に古い 臺に向つて進撃し、何等の抵抗をも受くることなくこれを占領、旭日の軍艦旗を上[芝罘四日發園通]三日上陸した海軍陸戦隊は同日正午芝罘を守る要塞たる東山、 廣東軍全市に成殿令 **5** 要塞內兵營、 未だ一酸も酸射せずにわが手に鹵獲されるに至ったものであ 山頂に新装の大砲は口徑十五サンチの新式砲で、砲臺は堅固なコン 火薬庫をはじめ市中の軍事施設を接收した、兩砲臺はその建造年代は相當 旭日の軍艦旗を山頂の砲臺に 3 クリー 那は今後もこれを継續して用 西山の雨砲

ト造りの

亘り飛嚴令を佈告した「ロンドン三日發國通」ロイテル廣東電によれば、廣東軍當局は三日全市に

門将有のクリーク地震

ーを組幣の

添田部

隊

京

班總領事館で

中國領事會議開催

二段階に入つさ京城總領事館 を加し臨時政府の方針に従っ で在鮮四萬の中城人指導の第

砲艇隊は先月より引破ぎ江上海三日韓國通』海軍自慢

太湖上で

進めついあ

遞信當局の具體案

海運関策資祉の設 関中の具體楽は が、延信省局におい が、延信省局におい

四、會配資本は民間資本のほ 棚間として總面會網成や決議のような は、経済的製業開係質現の基本政府出資本は民間資本のほ 棚間として總面會網成や決議

海賊船を鹵獲

一、日夜經濟開設に資するな 特殊會社とし、その設立は 特殊會社とし、その設立は 特殊會社とし、その設立は

・大體以上の如きものと見られ 生様案、業算を提出する方針

遺骨上海着

▲河野喜作氏(大同セメント)

新京ホテル

氏(會社員)同大都

一氏(同)同一氏(南鏡社員)同路

重忠氏(同)同國際廣氏(官吏)同

機が飛び上つて漢ロ最初の空 | 顕複は最近英國より輸入されな響報と共に支那側眼翻機力 | 軍事専門家はこの支那側の職 | のまゝ東の方に飛び去つた、によれば昨二日日本飛行機が | 日本飛行機は悠々と偵察後をによれば昨二日日本飛行機が | 日本飛行機は悠々と偵察後をによれば昨二日日本飛行機が 英國製飛行機 初めて日支戰に参加 たグロスター・グラデエター を取のである、今回の日支戦闘を での上翔力並に対力を終るも である、今回の日支戦闘を を重ねた結果、第二期にはソを重ねた結果、第二期に予めをなな財産が、連力の は時速三百哩を出し機は優秀 E一六型に變へた。こ よつて焦躁の支

お側は迷に英國製グロスター グラデエター型を使用して日本機と對抗せんと試みたもので、變遷第三期とも言ふべくこの新型飛行機の出現は日本で待ち受けてゐたものである日本製とイギリス製との性能の比較がはからずも支那空中

大本 管連絡 會議再開

(日 曜 土)

日本の希望あら

積極的援助提

伊太利政府の最高國防方針

の連絡會議が再開し政、最南方面よりでつき高金の鑑置を講ずるため四日午後一

下第一個の全鮮鍛率食績を開の辨事處主任等参集、五色族 事、鎮南浦。仁

警備區域内の潛水艦

發見次第擊沈

フランス政府決意を表明

一 他の根本方針を設 を披藤して緋共親 で披藤して緋共親

日發園通」英國商船

り更にこれはその機 統領 ものである 地中海警備裏域に断然驅硬方

【東京國通】三菱嶼行會長潮

日人

後任は加藤氏

會長退職

瀬下三菱銀行

意圖なし関明

休會中の

日蘭會商

協定成立す

瑞西製 最高級品

ト領事等ヤトコアスキー氏は 駐哈波蘭領事

追の分野に持つて、 ふ、自くそざ

勅選議員補充

下清氏は全国後進に途を譲っ ことへなり三月五日の定時株 主徳會を經で退職することに 三日の軍役會で正式決定、新 會長には無頭常務加藤武男氏 れた終井男、帯原、松浦三氏職員より福帯職問官に住せら (東京画通) 政府は三日物運

随四千年 高らかに 五ヶ年

てはじめて成果を得よう は勿論述に非然を要する 整設と国地と、時局行態の これを繊壁た 計畫の飛騰、それに ロをつられる助共の

陰に近く背春を讃へる 三〇セン

あはれ思ひ出の花床に

男清き花山薔薇一輪 75、大東京のブラタナスの 我が身を摘み取れど戀

本中班政吉氏(満銭社員)同

美しきは戀哀し

茨の道の戀なれば胸の

人路の守護神

難のお巡りさん

前後左右一分の油断も禁物

雅でレデート 内地と連っているのです。 はですで、 はですで、

、一、二外國の衛策とに とれ東亜諸民族特別の狂 というが、惟ふに、抗日散発 とて、其命運兜まれ 対象して、其命運兜まれ 対象して、其命運兜まれ を失ひ、加ふるに終兵の とな調へ破壊の狂

(日 曜 土)

宣言決議

第二回全滿記者大會 國策絕對支持の決議

1-1

百員等多職市民に見る

地接ら

内地原殿

滿蟻社員會の

講演映畵會

平和確立を期する。現日建政に、親日建政府の健康に於る抗日政府の健康の政府を明の憲旨に

日滿兩商 一機關

台併調印式擧行 公會への輝かしき發足

らにかゝる吸血鬼は競見大第

なく殿間に謁する方針で

希年 湿齡店

渚

一員至急募集 一員至急募集 かえの カネタ製麺麭工場 カネタ製麺麭工場

宿下級高

出絶對客をとることが出来ないに係らず年少の彼女等に堂では人道上からしてまた公衆衛生の上からも由々した公衆衛生の上からも由々したのののとのとなると徹底的調査取りません。

店員一名但L內地人LIV

但し内地人に限る

担へ妓を鏖妓仕込みとして顧とならないため菜者はこれ等

日満合物新京商工界の發展に協すべき新家商工界の資際すべき新家商工公會設立の協の日本側新京市西務會兩機關の合作課即式は四日午前十一時合作課即式は四日午前十一時

愛玩に過ぎては

特質を消失する

軍用犬座談會《外間歌譽

西議側會頃石崎廣治郎、部 (〜署名調印、こゝに兩機關の 電長王朔山、副會長史維翰 手被を行ひ輝やかしきスター 王子衡、理事王錫廷 トを切ることとなつた【寫眞 の諸氏が出席して石崎會頭、 は高慶全く成つて直に經濟部 ・を切ることとなつた【寫眞 を切ることとなった 【寫眞 トを切ることとなった 【寫眞

徐特別市長 北滿視祭終

ー選問に亘り元木秘書を帶同 北端行政観察を終へた徐特別 市長は三日夜列車で輝京五日 より國建二階の新市長室に初 を廃したが、現餐の感想につ いて左の如く語る

古野町銀座九美屋荷

茶

苑

| 大事婦子急募集

日滿軍警慰問計畫

八臣ら が

間乃至十日間程度の確定で全 間乃至十日間程度の確定で全 になった。 のを表し、 のである。 のでなる。 のである。 のでなる。 のである。 のでる。 のである。 のである。 のである。 のである。 のである。 のである。 のである。 のである。 のでる。 のである。 のでる。 ので。 のでる。 のでる。 のでる。 のでる。 のでる。 のでる。 ので。 のでる。 のでる。 のでる。 のでる。 ので。 のでる。 のでる。 のでる。 のでる。 のでる。 ので。 のでる。 のでる。 のでる。 のでる。 のでる。 ので。 ので。 のでる。 ので。 のでる。 のでる。 のでる。 のでる。 ので。 のでる。 のでる。 のでる。 のでる。 。 ので。 のでる。 のでる。 ので。 。 のでる。 ので。 ので。 のでる。 。 ので。 のでる。

この恩風は大弾路署管下築者 動し直ちに忠告を殺したが、 動し直ちに忠告を殺したが、

休業を届け作ら

衛生派では過数一斉臨檢圖

貨

室數 場所

入室(各家共床、押入附) 料理店、飲食・・・下宿又は共同宿舎向 安達街五〇五(懸光路角)

設備温水緩房、上下水道、其他完備(電影・

春賣る酌婦

軍慰問使來京 日本新聞協會皇

福木町六○電2二二八九番 で 文 堂

高橋

貸

設備・煖房、瓦斯、

新京百遍街五一六

布く重い務めを終へほつても

な冷え

東で寒風荒れる街頭に出陣せ ・ きつた彼氏等の手足に温みを

官の極寒と抗しての働きは州

微質施日前後庫偽の休業国を 嚢に中央通署管内磁酌属中檢

托の上檢鑽實施前休然

終へた日本新聞協會尉問使編北支、豪雅方面の皇軍慰問を

間ならびに観察の途につく祭 (田田)

お菓子の

明五日(土曜日)の提供品

生菓子十個語

▲人・三〇例足物論・東京・一人・二〇長頃、東京・一〇世アノ獨奏 ▲ 直灣的 配質宴申込締切、正生協和會首都本部、市公署 全は主なる放送

大海洲帝國 当球協会では来る 一十日午前九時半より演算大 第一回全海滅人卓球選手權大 一日本等の一回全海滅人卓球選手權大 子に限り試合方法は個人トー 十七日までに新派居住の孫系男 十七日までに新派居住の孫系男 一回を開催することとなった、 一日本で出場希望者は東太 一日本でに新派居住の孫系男 一日本でに新派居住の孫系男 選手權大會 一線に在る皇軍の 奮鬪に威謝して……

希望の方は履歴書持参の上御来店下さい

(高女卒菜程度)

西村洋行

高

0

全山

女 事 務 后 員

一般多数の 來場を歡迎すると定であるが、社員はもとより

横濱正金銀行新京支店

一、市内に確實なる保證人を要す 右希望者は自筆履歴書持参本人来談ありたし 新京日本橋通三四

資格 一ヶ年以上技術に經驗の 邦文タイピスト募集

月收四〇— 一五〇四

7

小女給募集

奥米ハリウ

電話3六六二九条

多数御誘合せ御出席が被下度御案内申上供が本年度新年練會を左記の通り開催致度候條此際新加入者 石川縣人會總會開催

日時 二月十日午後六時 場所 賓 宴 樓 参園(當日御持念のこと) 南無及御 所氏名を來る二月八日迄に電話又は紫雪にて御通知相威度願上候 一石川縣人會事務所 石川縣人會事務所 一石川縣人會事務所

八十 代館(吉野町)
八千 代館(吉野町)
八千 代館(吉野町)
八千 代館(吉野町)
八千 代館(吉野町)
一月五日(土・午後六時
一月五日(土・年後六時
一月五日(土・年後六時
一月五日(土・年後六時
一月五日(土・年後六時
一月五日(土・年後六時
一月五日(本・毎日10日)
一日七年五日
一日七年五日
山田(浦州生命豊二十月七年五日
山田(浦州生命豊二十月七年五日
山田(浦州生命豊二十月七年五日

≣服

表店

短期宿泊縣切待遇

名義變更セズーの関入ガ出來マ ○迅速低利金融。

場所東三僧望が日本三條との方は東三條の方は東三條の方は東三條の方は東三條の方は東三條の方は東三條の方は東三條の方は東三條の方は東三條の方は東三條の方は東三條の方は東三條の方は東三條の方は東三條の方は

店一高 般級 住住

货

土地家 切賣!!買 買伸介

滿洲與產

一千個

限少

本へ四日封切。 本へのようれば一郎、四 をした、同じ主の許で書生をしてる をした、同じ主の許で書生をしてる をした。 のようれば相手となって をした。 のようれば相手となって をした。 のようれば一郎。 はいまとのようれば相手となって をした。 のように、 のよっと、 のように、 のよっと、 のよっと、 のよっと、 のよっと、 のより、 のより、 のより、 のより、 のより、 のより、 のより、 のより、 のまと、 のより、 のまり、 のまり



新京キネマ けふから

探偵物二本

俳優さして活躍してゐた、李 君は「東洋平和の道」に出演 した五名のスターとゝもに二 月二日神戸着の長安汎で來朝 した

支那のスター

(吉林白小丸)

りだが、後女はそのうち二つ。 原限と芙蓉の眺をもつてある のなけは謎のやうぢやない。

篇「ざん底」登場

一圓以上お買上のお方様に慰問煙草引換券を差上げます 銃後の奉仕 第一線の将兵に

指命遂行を目指して寶山が贈る本年度最高のヒ

日本一流會社製品を選拔して

全店愛國商品

慰問用品賣場は三階に特徴して 慰問袋と慰問煙草を送りま

大新京日報社 集せる戦利品参考 支那萬 同 主

の波、波、商品報告の大



合資會計協產并行 斯京吉野町一丁目 電3 6763

木 炭 (吉林白小丸) 大 安 雪木 炭 (吉林白小丸) 大 安 雪 本 炭 (吉林白小丸) 大 安 雪 木 炭 (吉林白小丸) 大 安 雪 木 炭 (吉林白小丸) 大 安 雪 香話(3)六五九五季

大谷鑛業製圖社 可京東二條通四一







亞細亞 二五二。四二五二③電

是非常院へ 力巧衣蜡 老松美粧院で展ます





では、あななにはおはなし でいや。それは、もつごもで がいっ。それは、もつごもで 全国限は、ふご、日分の間 はなりことが、

經濟の諸問題

近の歐洲に於ける

第三日の審議

能率協會生る 強て関係方面で計畫中であっ 強て関係方面で計畫中であっ を開展別能率協會の設立は、 対下時局の進展と影業界、社

つさ迷れる

を見出しかねて、ちよいかけて、それについ

やつき笑つて卓上の電話をさ

めになるさいふのです では、娘さんが、勝手 では、娘さんが、勝手

うん。大願西電方株はどうなるかね。 おしは、頭見だ……

んが、父はみごめるほかはな

がはなりま

う、トコ時に、日の丸へ来で くはしい際は、日の丸できかいなった。

てす。その相手の方

上海方面經濟建設に

時局柄多大の掛待がもたれる を来の類似機關をその傘下に を来の類似機關をその傘下に がらしなるべく創設されたも のであるだけにその活動には

先づ公共事業統制から

商况欄四

東京株式 金额 大調 新東京株式 金额 大調 新東京株式 金额 大調 新東 18100 18100 大調 新東 18100 18100 大調 新東 181000 18100 181000 181000 181000 18100 18100 18100 18100 18100 18100 18100 18100 18100

日商の對支問題委員會

三日から開業

に (清南三日 短 画 通) 清南居留 たる 清南銀行は、三日より銀 たる 清南銀行は、三日より銀 たり 内地向けば替は郵便不通 かり 内地向けば替は郵便不通 ことになった

事業の決定及び役員の選任を を大連商工會議所内に設置し 直ちに諸般の事務と共に會員 を消費の合理化に關する調査 を消費の合理化に關する調査 を消費の合理化に関する調査 を消費の合理化に関する調査 を消費の合理化に関する調査 を消費の合理化に関する調査 を消費の合理化に関する調査 を消費の合理化に関する調査

對支根本國策につき

質質的に認めら 進出

東京より来通したが、 文書課長と同道EI日午 佐藤東京支社次長來連談

21

新華 (五) 六

が、それは、間見のは、 が、それは、間見のは、 がしく能した。 を関するのは、 がしく能した。 を記した。 をこした。 を記した。 をこした。 をこし 神楽混さして頂きます』 が残りのお話でございましたが 時頃、蔵屋の間見家 は、関見の表情をは、関見の表情をは るのは、観彩だつ は、ほかに約束し るだいひますので

『しかし、きのふの、株田主 人のお謎では橋渡はないさい ふこさでしたがーー』 『それは、妹が、勝手にーー さいつては語楽がありますが 自由意志で、終東してぬたも なかつたものです」

さいつた金四郎は、銀織の

『お父さんによろしく際へて

して應様しやうごきめて来たった。かつごして、あまりの無臓に

(建地) 須藤 まあらんでせうか。 「おへる必要はありません」 こ、銀蔵は、思はずはげしい語酬でかういつて、椅子を ーー商島の非人間的な性格 ーー商島の非人間的な性格 し、参へていたどくわけには なたのお父さんにも申しあげ たのもそれをお _____

11.40 2.30 5.20 5.32

12.3 8.25 6115 10.2

二 節

0)

宿

小井鉢 の及

二圓五十錢 割烹 番九〇八二一三話着

りさしみ付 本場ふぐち お好み料理

串變ニユース

花束

の夢

底

◆ 需應診夜院八◆ 苯五廿四氧 民徒沢廣ル7ド六三四五回港 前局郵標本日

12.0

に御和談に 御宴會は特 應じます

での地に関った関だったが、 のは、Mかとつれ音楽の

南部縣 在分列 高峰 行 飛行 12.00 3.40 7.20 游 1.58 5.18 階上 十統

びもかけぬ男さあつた。 びもかけぬ男さあつた。

みだれ鳥田

電影 2 本 ど ん 原 日曜は十時五十分 上り花束の夢ト映 京人形異變 12.20 3.55 5.80 8.00F

階下四十籤

\$1.01 81.0 A148 5.2.21 の 発展 新いな 3 14.57 4.45 7641 座 76.07 82.04 IE.

1.44 4.58

2.54 5.48

新京キネマ

大海十一日より計別 大海十一日より計別を 大海十一日より計別を 大海十一日より計別を

ス 100 0 8017 8034 どんぐり 頓兵衛 12.10 3.27 8.41 ェノケンの子萬長者 1.3. 4.55 8.12 一日より四日迄 日曜十一時よ 『 階下三十銭

時 れて二人は 東日大併ニュース

映画御架内 豊泉馴場 MIN SINGLE

吉野町公會堂並

無敵を誇る サービス陣



朱上綠大會 伏見總長宮殿下

現京國通」代見軍令部總 長宮殿下には四日午後一時 長宮殿下には四日午後一時 長宮殿下には四日午後一時

り御少憩の後エックス光線 電子衛宝、調理宝等宗備せ され、ついで病室に御成り され、ついで病室に御成り

に御成り

發憲

布法

記念祝賀式典に

【ロンドン四日酸國通】

獨軍部大臣を

の反撃準備

ロイテルの報道

マスの軍事危機は表面傳へ6 製常な衝動を興へてゐるが、 製常な衝動を興へてゐるが、

れるが如き簡単な関防軍内部 東京工作以来の関防軍對ナテスの深刻な對立ではなく、一九三四年 東京工作以来の関防軍對ナテスの深刻な對立抗争がプロン に表面化したとの設が有力で に表面化したとの設が有力で をつて來た頭防軍のナチスト がイツの指導は最近殊に鑑者と ドイツの指導に登近殊に鑑者と ドイツの指導に登りつかけ にならぬ、アルブレッド・ である、一方間題のフォン・フ ではならぬ、アルブレッド・ である。

ルグ元師」
した新教総はドイフ國軍の を及ぼした
とて大鵬にもナチスの理論的
を及びした事實が判断、この複雑な軋轢相型が積りつも
つてつひに今回の危機となつ
て爆酸したのではないかとい
はれてある「宮庭はプロンベールグ元師」

は「問題は個人的でナチス政は「問題は個人的でナチス政は「問題は個人的でナチス政」と四日左の如く報じてゐるが、上と四日左の如く報じてゐるが、上と下ラー致するといぶのが握られてあるといぶのがに同婚解は結局に右に描述なるといぶのが要けることろだ、完全しているのが要けることろだ、完全を受ける。

右岸の

慨ね目的な

で達成

日本と友好關係にあるドイ

武器の輸出について最重取支武器輸出について最重取行法をより、殊に伊國政府は目の組がない秘密に高質として害輸出せんとしてある者をよ数重度がつてゐるる者をよ数重度がつてゐる。殊に伊國政府に高質に高質になる。

を轉々として支那に入る武 を轉々として支那に発うを がの直接武器が支那に輸入 される場合よりな事に輸入 される場合よりな事に輸入 される場合よりな事に輸入 される場合として支那に入る武

任京城總領事

酸 生

政府はコきに新政府に参加申 出てゐた在京城總領事范漢生 野し改めて左の知く三日附を もつて任命競令をなし朝鮮在 住支那人の保護方を命じた

大本管側より多田金融大長、 大本管側より多田金融大長、 大本管側より多田金融で長、 大本管側より多田金融で長、 大本管側より多田金融で長、 大本管側より多田金融で長、 大本管側よりの選長に伴

まり北支の情勢に開 したのち種々偽議す

に経濟開發を行はしめるこ に経濟開發を行はしめるこ と

目的

な

政府はっきに新政府に参加申「北京四日發國通」中國監験

事の任命

領

諸政策

具體化進

防軍對ナ

せびを三、1

19規管を海相に任命する、ゲーリング空初に経済問題調整官を乗任びに経済問題調整官を乗任せしむ

市內不穩

東空爆

抗争遂に爆發

獨逸政情の不

間角は解決し得ると信じてゐる

「中の日本に對する親善の精神はイタリーと同様で毫も變りはないのイダの日本に對する親善の構滅したと認定すべき真體的な場合とは別似に考慮してゐるもので、事變の推移に伴ひ今は蔣政權の壊滅とは別似に考慮してゐるもので、事變の推移に伴ひ今は蔣政權の壊滅とは別似に考慮してゐるもので、事變の推移に伴ひ今は蔣政權の壊滅したと認定すべき真體的な場合とは國民である。さらに蔣政権の壊滅したと認定すべき真體的な場合とは國民である。さらに蔣政権の壊滅したと認定すべき真體的な場合とは國民である。

T IN 滿

44

【頁二十刊夕朝紙本】

ш <u>-</u>

部屋言田醫院 門振科

棠

記録学賞子 記録学賞子

、東亜漸湯局は現在の外務 省東亜局および文化事業部 對滿漸湯局を聚合して設置 對為本務局は日、滿、支 を一體とする政治經濟文化 各般にわたる東亜政策の統 合指導實施機關とする

蔣政權壊滅とは別個に考慮

或

廣田外相、議會で答辯

制度廢棄

在登山領事代理 をは右に引続き神戸、横濱、 長崎等内地各地の領事館につ いても再開の手載さを進める 悲しき凱旋 故藤岡記者遺骨

任元山副領事

た同在い

いで遺骨は畠山 れ連絡船上海丸に移され立司 ついた 公主多数の焼香 れて降りしぶく函の中を日動 安置、焼香のかすかな輝方面からの弔電 常務理事、久野能者等に譲ら 今官の花環で飾られた船

創辭

果亞政策機關に 東亞事務局創設

等である ・近日中に日本から引き ・近日中に日本から引き

は四日関派行機で漢ロへ向つ日香港に暗着した許仗英大は日本に暗着した許仗英大は日本に開発した許し

大本營連絡會議

戦告の王重慶に向ふ筈で 本の情

計畫内容に

▲一力五郎氏(安東新報)四 日来京ヤマトホテル 日来京ヤマトホテル

禄開店に當つて切に御願

一切不明

敢行說

なの形勢は火第に平静とたり 行されたが、市内に必る不穏 機の腹東空襲は四日午後 4 載

表面化

ピス

愈

樹縣東方の共脈

ハ百を撃退

御家庭に

御贈答用に

企畫院で骨子作成中

備こ尖端を行くサー 新感覺を盛つた近代的設 陣の堅壘を誇って堂々デ

話③三二二二番 目 が肥すり又のは定某例ご

に無關心に止まる考へは毛頭表してゐる、我々はこの事實

恐るべきか

(三)

軍騎

土

はち旦解常で政監反鉄 のの情に のの情に のの情に のの情に のの情に を明める情な でした。 を明める情な でした。 でのに になった。 を明める。 ではたまった。 ではたまった。 ではたまった。 ではたまった。 ではたまった。 ではたまった。 ではたまった。 ではたまった。 ではたまった。 でもたまった。 でもたまた。 でもた。 でもたまた。 でもたまた。 でもた。 でもたる。 でもた。 でもた。 でもたる。 でもたる。 でもた。 でもたる。 でもたる。 でもた。 でもた。 でもたる。 でもたる。

軍の我有勢力

はモロトフ氏が先数の聯邦最 がこれを傳へてゐる。ソ聯の をはれてゐる。ソ聯の をはれてゐる。とゝに

付防して近く四萬二千順主力級主力艦二隻の新建浩計畫に

すてが與つ

後て日本航空會社、惠地公司と日本を繋ぐ直通航空路線は、東地公司と日本を繋ぐ直通航空路線は、東地公司と

日下賜収鹽朝中の駐日滿州國大使阮振霆氏は四日午前十一時宮内府に参内、皇帝陛下に寿謁を賜り、任國における政務を奏上、種々御下間に奉答の後有難き御言薬を賜つて午後寒時十五分御前を退下したなほ同大使は今月十五、六日

たとの間に武力衝突が勃起した。 「十二月始めより漢口は職務及び敗退兵充滿し人心は極度とに不安に陷り全くの間に武力衝突が敗退兵充滿し人での間に武昌では大學は不安に陷り全くの。 「一般民衆に迎つた動亂の結果を行つた。 「一般民衆に避力を掲げて京連の結果」を行った。 「一般民衆に避力を掲げて京連の結果」を 「一般民衆に避力を掲げて東陸主義。 「一般民衆に避力を 「一日ままた 「一般民衆に避力を 「日本を 「

皇帝陛下に賜謁

部門に至るまで公然たる隣接果第一線部隊はもとより後續

頃新京競職任の豫定である

日支直通航空

處女便天津着

旅客航空郵便取扱

全國的敗戦に

機烈となつてあるやうであり たれに闘するニュースは全く 犯濫の有様である。さきに英 米、佛三國政府は一九三六年 か制限條項を感よ廢棄する意 また日本海軍が海軍無條約の主力艦順 また日本海軍が海軍無條約の主力艦順 を見る。一方には ないたのかれた。一方には ないたのが、一方には ないが、のが、一方には ないが、のが、一方には ないが、のが、一方には ないが、のが、一方には ないが、のが、一方には ないが、のが、一方には ないが、のが、一方には ないが、のが、これが、これが、 であるとの外電

日本に轉嫁せんとするが如き 鑑計選送行の責任を不當にも が流布され、英米吶國の大韓

知言 二百萬町歩の中水田經營の出 域に優るとも劣らぬ肥沃地帶 ことは極めて注目されてある は、の日本の大陸進出と、崇麗の しこの程非公式に拓務省側と てゐる、蒙藍殿には原弘の地とされ 福岡の主 業移民の入植を希望し、研究 く治安恢復と共に未墾地閉鎖 て緊急且つ慎重なる對策を必 回、公司 委員會では防共推進力として 提供しやうといふに意見一致 水田開發には展弧の地とされ 福岡の主 近濱綏遠省黄河流域とその南 する事となつた、舊綏遠省寅 を標榜する蒙藍政權が茲に日 全は一方オルドス地方の未墾地一千 河流域は寧夏、甘粛の黄河流 本人農民を招かうとしてゐる「中、四年 方オルドス地方の未墾地一千 河流域は寧夏、甘粛の黄河流 本人農民を招かうとしてゐる し、四年 方オルドス地方の未墾地一千 河流域は寧夏、甘粛の黄河流 本人農民を招かうとしてゐる し、四年 方オルドス地方の未墾地一千 河流域は寧夏、甘粛の黄河流 本人農民を招かうとしてゐる し、四年 方オルドス地方の未墾地一千 河流域は寧夏、甘粛の黄河流 本人農民を招かうとしてゐる し、四年 方オルドス地方の未墾地一千 河流域は寧夏、甘粛の黄河流 本人農民を招からとしてゐる し、四年 方才ルドス地方の中水田經營の出 域に優るとも劣らぬ肥沃地帶 ことは極めて注目されてゐる は、一次は一次により、一次に表記を明してある。

の他航空郵便の取扱も行ふ

蔣打倒の聲あがる

各縣の住民 皇軍に感謝 皇軍に感謝

日一金は左の如くである日一金は左の如くである はに到着した、この航空路は は、北京間を惠通公司が分擔 は、北京間を惠通公司が分擔 は、北京間を惠通公司が分擔 は、北京間を惠通公司が分擔

一、往航 福岡波午前九時四十分、天津渡午後四時五十分、天津渡午後四時五十分、大津渡午後四時三十分、京龍沒午前八時三十分、東津渡午前八時三十分、東北京着午後二時二十分、南島沒午前十時二十分、南島沒午前十時二十分、南島沒午前十時二十分、南島沒午前十時二十分、南島沒午前十時二十分、福岡二十銭)、青島一天津間五十銭)、青島一天津間五十銭)、青島一天津間一大大五圓、貨物一キー(旅客六十五圓、貨物一キー(旅客六十五圓、貨物一キー(旅客六十五圓、貨物一キー(旅客六十五圓、貨物一キー(旅客六十五圓、貨物一キー(旅客六十五圓、貨物一

末陽、棲霞

支排完了

明朗芝罘の發足

急テンポの治安

語の極に達してあたが、わが 部階の人域とよもに不良公安 間が数層縄栗し秩序は全く素 態が、武器、彈薬を押収する等 除、武器、彈薬を押収する等 に致験兵の武装解 に対してあたが、わが に対してあたが、わが に対してあたが、わが に対してあたが、わが に対してあたが、わが に対してあたが、わが に対してあたが、わが に対してあたが、わが に対してあり、住民は皇軍の級 とつくあり、住民は皇軍の級

園通】 園民政府 一党のよと

を しのび 陣中の豆撒き 億同胞に 領事放送

近く具體ル

陸軍省他兵部を訪れた 成して飛行機建 のとで飛行機建

新聞で戦傷者が一目で解る ましたが、私も同感ですか ちこの金を是非その費用の 一部に充て1下さい 用の では、私も同感ですか

ど協議 佛伊兩國大使

ス大使カラバシ氏な

一般の電 て芝泉の 重報も収扱ふ筈であるなつた、一兩日中には 維會成立 びにランド

ので、結局根底ある職爭は必要こそあれ、これ以上國民を強めるとは到底望まれない 株

式 相 塩

商况欄質

(紅期)

次、 元、 元、 元 元、 元

菱を與へ館やかな色澤を加へる

九瓶小瓶の二種あ



支店



庭家 質 用 0 時 で へ 同 (婦人用) 子 光浴が 用 計 型 跳 Bi 電型 電子の な は な な る る 總時

神戸の支那 領事館閉選

湖

格に特例

金十萬圓を

省に出頭せしめ金十萬圓を差 態志家が、その代理者を陸軍 医一大変を関連】三日午前十時一 陸軍で

が ・ ない ・ な ・ な ・ ない ・ な

三宅中将招待宴
として天下に名聲を轟かした三年中将の八方振りの國都訪問を機會に張國務總理大臣は三年中將於招待歡迎の饗宴を張った、陪演として關東軍片倉中務等招待歡迎の饗宴を張った、陪演として關東軍片倉中後六時より總理官邸に三年部參謀長、澤田大使館参事軍部參謀長、澤田大使館参事

神吉次長ほか各

の辭を述べ、一同和

双

二百 圓

秀

五圓以四十圓 四倍、六

品 入 荷 優

躍進の一途を辿る

奉天省政

じめに上級用を配布

を作つて生徒に配布してゐるを作つて生徒に配布してゐる

である、或る概科の鑑賞者の や研究をして数長の効果を大 (二) 調育に闘する施設 ならしめようと努力してある 和調育に闘する施設 ならしめようと努力してある A 訓育に闘する施設 (ま) 依着は 教材の研究に得る所が多い。 等學校に於ける或績の考査と 學校創立の内命を受くるや、 た地 教材の研究に得る所が多い。 等學校に於ける或績の考査と 學校創立の内命を受くるや、 た地 教材の研究に得る所が多い。 等學校に於ける或績の考査と 學校創立の内命を受くるや、 た地 教材の研究に得る所が多い。 等學校に於ける或績の考査と 學校創立の内命を受くるや、 たけ 教育の多い學科に於ては、 「捐載せられてゐる、この論 の如き教育の方針の根本を定 所かのと 楷當者の多い學科に於ては、 「捐載せられてゐる、この論 の如き教育の方針の根本を定 所かの 時々寄り合つて教材や教授法 文の要旨は考査の目的を單に めた 発音を含つて教材や教授法 文の要旨は考査の目的を單に めた

日満貿易機關を

二頭を出した、右南氏の英霊 一部除下士官集合所に於て盛 大に擧行された

つ増へるこ 市長、

ととなった

國建局長

元的に改組

八組合を結成

右の根本方針樹立の縁め先づ 一郎氏計四氏を聴して教 機員組織に努力し、旅順中學 校教論宮師正恭氏、佐藤修 學校教論宮師正恭氏、佐藤修 一郎氏計四氏を職員として他 には新京商業學校教論三原母 水氏、同今江勇也氏、新京高 等女學校教論及川コウ氏、窒 町小學校訓導大下吉滅氏を囑 近して他

第一陣ぞ 第一陣ぞ 第一陣ぞ 原近のぼる 悪坂のぼる 悪道を四方に宣光かけ といざ、皇道を四方に宣光がける。

最道を四方に宣べん シャの雄諮高く

三江地域一體に亙つて久しく「哈爾濱國通」當地某機關管

し一段の緊張を促

名をもつて各處科

流を完成し、高

り新らたなる

【佳木斯國油】佐久間部隊長の指揮する佐久間部で、七百の指揮する佐久間討伐隊は連申去る三十一日早晩五甲附近に趙信志の率ひる六、七百のに趙信志の率ひる六、七百のに前ひ、七時五十分頃胆賊百百ちに行動を起しこれが潰滅敵に大打撃を異へ、これを南部に大打撃を異へ、これを南部に大打撃を異へ、これを南部に大打撃を異へ、これを南部に大ける匪側の損害は遺産した。この東延慢三十四、造業死間二十四、造業死間二十四、造業死間二十四、造業死間二十四、造業死間一時間の後

れたこと略確實であるれたこと略確實である

日滿看護婦の

濟南で活躍の

半島出身麗

新設期養成所

| 「「「「「「」」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「「」」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 | 「」 許を興へることとなるので、 に発生部に認可申請手續を爲 すこととなり、設立後は同寝 がこととなり、設立後は同寝 がこととなり、設立後は同寝 がこととなり、設立後は同寝

行を有つものでありまで、別略せんとするのととするのととするのというに、別略を以て一斉にいい機を更に一新し、 獨逸領事ら

イツ領事やユールボ

信州伊那の谷特産

程

全國有名藥店、百貨店、食料品店にあり。

是で家人も驚く程丈夫になる 羅馬縣 瞻

木。健二

生來の弱い體質が

りました。歴もみんな動物を変数したお貼で、彫くの変が態を変数したお貼で、彫くを変数したお貼で、彫くを変数したお貼で、彫く 行き順民の養物を高級に乗して登して登場兵機会にも合格し、朝鮮まで なくなり、化事にも大規称が出るなくなり、化事にも大規称が出る 、胸苦しさとか、原切れがして、一ケ代はどを飲を練けま

み出し、夜 美味しく進 大り安眠出来るの 起きず朝までグツ て小用にも カく温まつ 分足腰がホ 養命面のお陸だから、寒い北支の戦地で活躍して す、此の前になって毎日元氣で働けるのも、全く で、迚も丈夫にな 居る体にも一流送ってやる事にしょり り、風が一つ引か







寒がりの體が活気づき 丈夫になって風邪も引かない

が、信州塩澤家傳、滋養強壮剤の養命酒を飲み 夜分床に就いても、足腰が却に温まらず三度も 四度も小用に起き、始終風がはかり引いて居たの 始めてから

食事が連も

在庫 酒保用品

卸

門外文具類、他に等金部取締へ有之候領多少に不拘御用命の程伏して原上師 自豐 大组市三河町二十九番場 段替 大雄 六一四三〇

当内にあり 醫學博士 朝日通り **1** (8) 六六六八

夜間診療

●内利小兒科 醫學4 大澤 無 醫學4 大澤 無 様 福學士 古川 度 整學博士 教育秘書 野季博士 教育秘書 野夢士

倉庫専用 (3) 六二六八番

他土木建築諸材 新京ダイヤ街老松町 料商 ふ

0

番

組

五日(土曜日)

海唱 総は終りぬへの

浪花節淺野家十二

リエットより

ボスト

に脊髓が曲つて佝偻病になったり、又體の重みが足にきて足が曲つたりすることもあるからです。

かりでなく、前述の如き縛やっとするにはカルシュームば

和、洋服の 時計

時計のはめ方

が合なし

0

ラフイマー・ボボヴ

000

三、三重奏 カヴアテイナラス作曲 ロ、海県 へイ・矢車章(ロマンス) チェル・アフス キー作曲 ロンタ(ロマンカー・アフス 中山 ロンタ(ロマン) カット かん レハール作

総門強防とその手書 の、三五料理献立 の、三五家庭メモ の、三五家庭メモ の、四〇經濟市況 (大連・新京) ・ 五九韓 報(東京) ・ 大連・ 報(東京)

XIX ◆XX◆九○元 ○時經歷

一、〇〇無済で東京・新

スの文壇に異べた東、外山 図ぎ

白九〇カ〇ペにい骨ラ 、はユ 米%・ブペッはでもエペワー 〇 で 〇ラ%〇大せ同ビゼカム ・落五〇、・豆う時と、サ分

はいた。 はいては、 はいでは、 はいでは、 はいでは、 のででは、 がけでは、男性ならともかく、 だけでは、男性ならともかく、 がけでは、男性ならともかく、 のへば歌かい節がづくめのですね は、 で落第です。洋装の場合 であることもお忘れないや も服の色と時針のこぼれる である。 で落第です。洋装の場合

の骨を丈夫にするるといってか、骨を丈夫にするるとい

等のものをとればよろしいが等のものをとればよろしいが 等のものをとればよろしいが をとたるから、骨軟症とか何 をとたるから、骨軟症とか何 をとたるから、骨軟症とか何 だけでは骨組織を増す石灰化 がたらないから、その結果骨 が軟くなり、頭の重さのため

それに築業素が

質物ばかりでなく、この頃

制

どで、これ等は

が多いから召上 は仮は安いし

ヴ

1

にするにはカルシュー

他の無機鹽頬が必要でなく、マグネシューム

婦人であるの

の飾裝內室

主に床のない部屋を中心にし

はひのない暗い客願的な飾りをそのまゝ家庭に持ちたがる 又一般には飾りは贅澤である とか人の目につく場所だけ飾 るやうに考へてゐる人がまだ

文夫にしたいためにカルシュ フ同様の目的のためにわざわ でカルシューム類をのんだり する人があるが、これは譲つ

ユカトルムジ

年乳○・一二%、バタ○・ 九三%、チ・ズ○・九三% 九三%、チ・ズ○・九三% たどは何れるカルシューム などは何れるカルシューム

って、初めて骨が丈夫になる って、初めて骨が丈夫になる

光浴も大切な

林歌はどこにあるのでせらか 化粧をしてあるやうに見え で、それゆえ巴里の女はやは で、それゆえ巴里の女はやは いかも知れません。



藤影幼稚園

園兒募集

世界一のお洒落者

は、手品でもなんでもあります。

世里女の美しさは世界の定 をせんが、しかし實際に向ふ へ行つてみると、世里の女は亜 へ行つてみると、世里の女は亜 へ行つてみると、世里の女は亜 へ行ってみると、世里の女は亜

の女ーいつも眞黒な衣裳のよ えません、それでゐる様にも見 となぐアカヌケしてゐる巴里

神經を柔げる

里女は何故美し 新歸朝おみや には合ひません、自分の肌を いかにして美しくするかには 百パーセントの努力を拂ひま 話 が、ヨーロッパと同じく断髪 合が布かれて、髪を長くして るると税金のかゝる北支など の婦人も髪の扱ひ方には相當 苦勞してるるやうです、時節 哲軍人の未亡人の方などが美容といふ職業を携へて明朗北支の建設に参加するのは如何にも相應はしいことではない かと考へられます。

情的な研究を忘れてはならぬ がもつと向上し、美容家が藍 感じたことはわが園の美容界 ントの可否が云々されてゐるといふことでございました、 決れるマ 無職士二日出發朝鮮京城及內 地東京、大阪等大都市の衛生 大記親察のため出張中であつ た首都警察壓衛生科磯部博士 は長期四十日の統行を終へて は長期四十日の統行を終へて

のをつけてるます、我國でしたら、米が主食品なのですから、文米を原料にした白粉などでしたら、皮膚のためにもさぞよいだらうと思ひます。 美容は既に彼地では立派な ふなど 飾るにしても最初に中心を拵いこれであり、一軒の家でも 近頃では客間を除いては殆ど これに類する部屋が多いから いた。 いた。 いた。 いた。 のはたた農家の間取りでも、それた。 のを配するだけで立派な美術的 にまとまつてをり、花や遺物 を配するだけで立派な美術的 を配するだけで立派な美術的 を配するだけで立派な美術的 を配するだけで立派な美術的 を配するだけで立派な美術的 を配するだけで立派な美術的

へることが大切である。 中心がないとつきり喫茶店 調になつて、唯なんとなくま とまりのつかないやうな飾り に堕り易い。 したでは、 質りあい。

どは他の飾りが 変色、緑、茶な

病撲滅の施設を

是非實現した

內鮮を視察して機部博士島

とする所謂 は一定の他 に一定の他 に一定の他 につい に一定の他 につい につい

間縮小された生き いては感心させら によって生ずる ではなかった、同院 によって生ずる ではなかった。同院

日本のである。 のから線のほかされたほのかった。 のから線のほかされたほのかった。 ではせいこましい模様のあった。 がいだけに他の装飾が供よい、壁紙は からである。 からである。

無持と部室とがよ にれて仕事に没頭出 にれて仕事に没頭出 を気分にも浸れる部 よくない、一打

P壁を明るく塗って 悪い部室はそれを

を、「明るく簡素 と、「明るく簡素 と、「明るく簡素 と、「明るく簡素 を、「明るく簡素 でない、道路や線路に面して で中雅管の絶えない部室はな でな気分に飾ればよい。

た飾りをやつたら 国に型どほりの莊 国に型とほりの莊 てまとまりがつかなる。中心からすべ 性突然と部屋を飾つては決してまとまりがつかないのである、中心からすべて連絡のあるやりに関度や装飾品を配置するのである。

つま

れるが、どちらもそれが、面が室の色彩を定めるには大部室の色彩を定めるには大い。

◇…… ◇ から調度品 から調度品 から調度品 から調度品 から調度品 から調度品 から調度品 が、 価積、 重さ等で變化が出 来るので、 総て四つの條件が うまく調和するやうに心掛け いまり自まない。 から、調度はありきたりのもから、調度はありきたりのもまの紙、繪像、花等で面白くまの紙、繪像、花等で面白くを扱化をつけるやうにならう、一つ/ カテゴサーはないのだから同色を異色も一丸としたから同色を異色も一丸としたから同色を異色も一丸としたから同色を異色も一丸としたから同色を異色も一丸としたから同色を異色も一丸としたがら同色を異色も一丸としたがら同色を異色を表して

のだから、その人に向くやうって表現すればよいのである三方壁で一方が腰高のカラって表現すればよいのである三方壁で一方が腰高のカラットといふやうな條件の思い部屋で、光線の對角線に當る壁の角に吊花籠を高目に置いて、新鮮な季節の花がたわるに至れてゐるなど、他の調度がいかに致しくともこれで充むしている。 がいかに登しくともこ がいかに登しくともこ

外取が多いし、同色系統



同色光統をは

インテック

かき

絶好の

機會

観工をするなら

はどこせばすばらしれどこせばすばらし



でせら

料理献立

満文タイピスト生徒募集

1)

大學資格高等小頭を

小學校卒業程工

・二巻きほどして、不満を糸 ・二巻きほどして、不満を糸 ・二巻きほどして、不満を糸 が燃え切ると同時に、ピン を冷水に投すれば綺麗に二つ に切れます。

お

排らへ方─島殿物はよく洗ひ ッ少々、葱、人珍、里芋、材料-鳥騒動五十匁、キャベ 安くて滋養に富れ鳥職物をふ んだんに頂きませらい

明る公路で





都會に住む人は多の間だけはなります、農村の人は兎も角 かおつくうになり、日光にあがおつくうになり、日光にあ 高價なものでなくとも、なるた色はよい感じを與へません

が必須萬能は駄

目

婦にはビタモ

ンDも必要

スよまでもなく日光の中には ※外線があつてそれが皮膚の 下に浸透して、血液中にデリ エステン、即ちピイタミンDの絵では 前述の如く無機豊類、特に憐 カルジュームの代謝を不完全 にするので、何僂病や骨軟化 症の縟纂にかるるやうなこと になるから、毎日二時間位の のの絵では がやうにしたいものです。 一日に一定時間の日光浴をと べく色の異つたものを敷積持つてるて、その時々に應じて 取變へるのがよい、はめ方は 補口にかくれる程度がよく、 出過ぎても奥深か過ぎてもい けず、殊に財近くにはめて、 けず、殊に財近くにはめて、

も女らしい好みの皮がよく、 お嬢さん方はいろく、のりボ ンを利用して服を壁へる腹に い方はなるべく濃い色がよく 金や銀の鎖程などは手の美し さから云ふと感心出来ない。 時計の位置は腕の外側にきち

云ふまでもなく日光

かった。 は高値さを誇るだけで若い お嬢さんには感心した趣味で

九-通条-東京新 **行洋信日** 七〇五六〇章

湯に入れ、

では腕時計をつけるのは旅行や買物の時、または職等婦人などが主で、日本のやらに何でもかでも所嫌はずつけるやっなどが主で、日本のやらに何でもかでも所嫌はずつけるやっなことがなく、必要があっても腕よりも懐中が多く、腕のだそうです、わが関では丁度時計が腕輪を乗ねてゐるのでそれだけ紐や時計の型に注でそれだけ紐や時計の型に注でそれだけ紐や時計の型に注でそれだけ紐や時計の型に注

サ んとすること、だるんでずれ の場合は少々袖口から離れて も掌のつけ根にはめてある 歴です。

味をつけたら

キの汚れ 台 は 顧 間

来たとき下

お

かだれたら次のやらにして拭がだれたら次のやらにして拭 空ビンの から御注意下さい。こ

からする

2

そのまない。 てるのも勿體ないといふまとでは使ひみちるない 變つた利用法

米でからいは る法

かくれるやうにしておく の難いことがあります、 の難いことがあります、 知いことがあります。

イ、白ペシャなら遊を刻んで で、メリケン粉を水で園くボロボロぐらるにこれで風くボロでペンキの 上でまるめ、これでペンキの はなりなを軽くこすります。 からしみを軽くこすります。















邦文タイピスト養成所 新京朝日通八十 幹入 あたりを5つと貼めてある。 はれてゐる遙かの支那部落の に腰かけながら、淡い霧に平 に腰かけながら、淡い霧に平

『女學界』一然、これを稱して「强者聯盟」などと稱したのは誰であつたか、近領の同誌を見ると一論學之ない内容で、寂寥である。
「大りが無施をおげてみるのと、中村光夫あたりり歐洲音樂研究解析をおげてみるのと、中村光夫あたりり歐洲音樂研究を貼いてあるだけである。編輯後即で河上樓太郎あが頻を貼いてあるだけである。編輯後即で河上樓太郎あたりが愚痴をとばすのも悲惨である。 一般の名とかは他が「徳・生活の探究」を書き出して力を入れて仕事をやることがこの順肝腎であらら、もの方とがまあ同語の存出質を明に相當の名談を得て居つて、それで資る雑誌を平穏の方は大學迷惑するのである。

學

元氣を出して やつてくれし

『文學界』沈滯

聖日

トラツクに

巡

(保利本記本) (保利本記録) (保利の報報的介 (投資) (は対策)

大和運輸

(村村) 殿公司

カチ

リス

7

をなく家にじつとして居るの となく家にじつとして居るの が佗びしかつた。家に居なけ ればならない者が妻を見せな

生活も靜枝と接する事によっ 生活も靜枝と接する事によっ 生活も靜枝と接する事によっ 生活も靜枝と接する事によっ 生活も靜枝と接する事によっ

黑龍江

な思ひが胸の中を往来させる は私の心の中に喜ばしい様な 自へばを直ぐ涙が出て来そう を思ひが胸の中を往来させる

相当生〇

ものですからーーと

いつくりしたやらになった。静かなあたりの

寒内の兄が北端から内地へ 時勤する途中立寄つて臭れる ので其れを迎へに来のだつた 私は妻が大病で寝て居ることを前以つて知らして無かっ たから足夫婦も定めし其の話 をしたら驚くことだらうと思

なものとして出来るだけ避け たものとして出来るだけ避け まるで少女の様な氣分が残つ て居るのだらう。

慶應看證

総あんま

近を同性で被逃に御信

電話。五六 電話。五六 派遣

大物語3二九〇人 堂

電話及金融

意味即時 · 長期秘密

(動のがは) 荻本電話店

追婦會

が、すらすらと口を笑いれるなく軽い冗談めいたものですからーーそれでものですから

日の

の二人きりだつた。

き先に落しながらつ

は「あなたですよ」と言れたので、馬鹿(しい事のやって、馬鹿(しい事のやって、馬鹿(しい事のやって、馬鹿(しい事のやるは無言で立上つた。解技を促さらとして見下ろした私を促さらとして見下ろした私をしなるのに、下からまともに私ををしたがある。二人はニット後をひ合った。部技をな大路で「ハハ……」と

したやうな氣もするんですけるさう仰言れば何だかお食ひ

何時の間にか解技は私の個 に腰を下ろしてゐる。ほのか な彼女の陰臭が私の答へを催 促してゐるやうだ。

私は或る日靜枝にから言つ

てみたんですの。だつ

を散歩する以外には患者にとって慰安室は唯一の娯楽場であったから。 「僕はあなたを去年のクリスーではあなたをおいる。

事が時たまあつた。足音のしないやうに私の側に來ると、だしぬけに 「其臨で何をほんやり考へていらつしやるの?」 と言つて私を薦かせる。 「いやあ……別に……」 私は私の夢を破られた彼女 への輝い憤りを感じながらも

何家ない路路は明

~ 「哲學者みたいな事を考へて たのは何處のどなたかしち… でもあなたの考へていらつしたのは何處のどなたかしち… でもあなたの考へていらつしたのは何處のどなたかしち… 「一體どうしたんです?」
「あのね……。みんな私とあなたとの間に何かあると思つ
てむるらしいんですの。
さんなんか、男の人と歩いた
らさぞ面白いでせうよ……っ
「食堂で一人で泣いたわ」
「静校はもう顔を質赤にして 今にも泣き 後はすつかり凍つてしまった。家毎に吐き出す煙が無 弱 となって見通しが利かなくな 時のを隔てれば早やボんやりと が 弱んで見える。

すれ。それで時子さんも其の なの同類と言った言葉に多 少滑稽なものを感じたらしい 静枝はファとほゝゑみながら 「いゝえ。時子さんは遠ひま すわ。あの方は私の味方よ。 時子さんたら、そんな事気に かける程の事はない。これか ら見せしめに大いに一緒に散 歩してやるといゝつて仰言る ですか。そんな事言ふれで時子さんも其の た雪が轍に、人に、馬蹄に霧 みつけられて氷の裸になり、 通行人の足元は滑り易くて危 陰此の上もない。自動車も急 だりする。 人は皆毛皮にくるまつた。 馬車馬の鼻先には息が凍りッ ララがぶら下る。 私はがらした夜の街を渦ぎ れはがらした夜の街を渦ぎ

び戻すやらに暫らく考へてる がたは過ぎ去つた記憶を呼 がやなかつたでせられ」 がやなかったでせられ」 がやなかったでせられ」

はいのに関係となった一人で能を見没る、又迎へるでも で能を見没る、又迎へるでも で能を見没る、又迎へるでも で能を見没る、又迎へるでも で能を見没る、又迎へるでも を能を見没る、又迎へるでも で能を見没る、又迎へるでも で能を見没る。本書の荒々し で能を見没る、又迎へるでも でして見るのだ。

には十二分だけ業しさを延ばして見れることだつた。
面し曾へば貞先に云ふことだけ長びいたわけだつた。
東の方を向けて西風をよければ煙霧の中に薄ほんやり見えて居るシグナルの光が澤山並んで居り、其の中のたつたっつの光が赤で無くて緑色のたぶい光りだつた。中がて列車が入る。
本リムの天井にピンくく響いて居た。 日本タイプに 合い 日本タイプ に 日本タイプ に 日本タイプ に 日本タイプ 会 日 日本タイプライ 音数 日本タイプライ 音数 日本タイプライ

中国中日(の)

である▼「ひとつトラになったりしますかね」 こかである▼「ひとつトラになったりしますかね」 こかにしてこの言あり、居は 心を移すといふが獨居も である▼「ひとつトラ

言つて減い でね」さり タイピス 電話意

印刷及帳簿 三友社 永樂町 **州陽明愛 二秦公司**

ロシャ菓子 就所 五丁目六 電話川時館建

極一億軍

門專門

効果確置御試鑑を乞ふ 別ウマチス 関語 炎、神 経 統 特効藥安心散 吉光堂療院

盟(3)三五五〇 缩病

三四年式 グザント 三四年式

外慢性系统

堂書帜



會式株融金和昭

出自

是非!







台合合 台 台台 の新しき女性の 生た洋裁研究所 △大學毎月始め ◇科別!!

三五年式っ 三六年式

三四年式 三三年式





王屋

お

物は

九天-之(3)電 间十二字





流れてるる許れてるる許

不思議に誰 に能もしているに

ームに倚りかょりながら、ち 雪らく其のまゝの動作が複 村られてるた。 不意に餌を上げて鬱枝が言 つた。 「私国つて了ふわ。部屋の人 が何だかだ言ふんですもの」 私は咄嗟に彼女の言つてゐ る事が略々想像出来た。然し 私は何するでもなく、

スチ

だらう。 なでなく、佛閣西の大英の を破りまするに努めたそうで ない、大文の大学がでなく、佛閣西の大英 を破りまするに努めたそうで ない、大文の大学がですると、「一本の美人と、「一本の大文の大学がです。 では、「一本の美人と、「一本の大文の大学を ない、大学のであると、「一本の大文の大学の であると、「一本の大学の大文の大学の であると、「一本の大学の大学の であると、「一本の大学の大学の であると、「一本の大学の であると、「一本のいる」と、「一本のいる」と、「一本の であると、「一本のいる」、「一本のいる」と、「一本のいる」と、「一本のいる」

「「本のいる」、「一本のいる」、「一本のいる」、「一本のいる」、「一本のいる」」と、「一本のいる」、「一本のいる」、「一本 で居る姿も見られる。 を表が現られるのかと思へ がの姿が見られるのかと思へ は時々は用の無いのに即に来 がの姿が見られるのかと思へ は時々は用の無いのに即に来 で居る姿も見られる。

代書となってきるできなっている。

→◇◇◇ 十五被三

方行魔方 一 度 回 ———

が京吉野町一丁目

みどり茶園

お茶

私はブラットフォームを行ったり来たりした。此の国ひの無いブラットフォームはやはり寒さが烈しかつた。貨車の入れ換へをやつて居る衛内の機関車がをつん裂く線な汽笛を鳴らしたり、大陸的な感じを興へて果れる鐘をカラン い長い間の出來事が山の様に を記れも云はなければならな はながある。 どん 女給募集 **簡易** 降三人

歲末、夜

0

「新京のあれやこれや

十一時になつても哈爾濱か十二分遅れて入ると被じた。 人を違へることは樂しいことだった。普通ならばこのたとだった。普通ならばこのたとだった。

三省堂製本所 京春軍學校 御指定

你町三章③二六八四 ラック の御用は

時獨身黨

古光堂療院

自動車賣物

7

中央通り

出前迅速

末松接骨院

●31110日春

はれつざ

はなつざ 今辨慶整骨院 がにあっ

支婦む一種子美 會席折話住出

の中方外類

九州堂療院

電③六五〇九

新京きで前

文華洋裁學院

教授

十一日、刊

· 專圖荷扱所 · 專圖有扱所 · 專圖有級所 · 數支店 · 沒有 · 數支店 · 數支店 · 數支店 · 數支店 · 數支店 · 數支店

顚

案

內

胎

星)

主

有川藤吉

ル正規製鋼並出願手

图3五0四八番

髙梨福雄

桑野四郎

(日 曜 土)

商信 送內貸小請 業 用 約付口預 為別 查狀 金替引金金

積资本

立本店

壹億參千四人四拾萬四登億四(全額排込濟)

行

支新

店京

電話石炭部。二〇三二

表の日とはカーコ

理護

土土

立醫院股科

指定

E

確

T

3

0

當店

风事高

特許商標出願審判 及鑑定 本部 顧問 及鑑定 事 商 中刑 事訴訟

原

特法

造 販 Ξ

(六)

新京陽町 章 話(3)

店 〇四番 =

すくすく .7

赤ちやんを

學天事務所

不天道速通二八・ヤコー 京 場 町 三 ノ ニョ

教芸(四)三六一一書

母乳そのま」

年は油注

新京祝町三の三(開花 五前

炭指定 和京日本橋通二五 店料品

豊楽路モンデカルロ降電ニニニ

110

病 科産婦 คณาบาก

所張出京新 電量(3)電 N= 9通来中

知

識

眼

が一美 か 間口 あたりは 若人のよるこび

綠 村岡。御案內 醫 を御覧下さい………目新らしい流行の柄がぞく春の御召物は先づ村岡のウキンドを………店内の衣更の時季になりました 入荷致して居ります 院 ホームドクター 尚 長春大街三〇二連國設若寺筋河 住吉

姚 分 宝 病 小内 児 科科 **科** 医 守士 科 医学士

院長河野五百里 店 来 松 东 专 ΠĚ 勇

他に致します ラフタ 銀座通丸美屋三階層③六一九一番 * 1 各號で揃居ます ム専門楽

柳

屋

質

店

番二五一三(3)電

吉野町二丁目裏小路東二條通り入

洋和新

柳

屋衣服店

服服

 持 婚 禮 同 古 情巧なカスラ 和洋結緊,美容三 東京涌十三番③四 禮支度 R 系通十三重③ 一取揃う居います



電三一六大四六者

通大大

六日薫詩の住節を迎ふるに當 り協和會主催のもとに例年の り協和會主催のもとに例年の 初の意義深き萬詩節のこと」 て首都本部主催のもとに例年の 大の兩日に亘り記種の襲配行 一大の兩日に亘り記種の襲配行 大の兩日に亘り三十五萬全市 十ること」なつた。先づ五日 年後六時中及び六日午後一時 はりの二日に亘り協和會館に

発許證、許可證 がに書換へよ して選編 を表

武共に充實へ

校報を發行、柔劍道も猛練習

智 民遊蕩大會があり、當日の六 の 日には協和會各分會に於て慶 軍人會館に於て左の大第に依 第 軍人會館に於て左の大第に依 かった

製期日迄申出でられたいと 製期日迄申出でられたいと 製期日迄申出でられたいと

計證或は許可證の書

、該當者は速か

令夕六時半より市民遊藝

計畫中の所今回準備完了して役教育者の北支教育観察團を慰して先設より全満洲の各學感して先設まの主義との記察の重要性あるを痛

だ計名の視察團を組織して十四県として全補各地から選ん行率天朝日高女校長本多篤氏を行 五日出發する事となった、本 親祭團は十四日夕率天教町滿 京に出で北支各地の現時の邦 大及び中華人の教育狀態を親 教して今後の動向に遊せんと するものでその傍ら皇軍の慰 市るものでその傍ら皇軍の慰 地から適任者を傾重に選んだ もので観察の結果は教育界よ 大多篤(本天朝日高女校長) 玉井馨一(奉天商衆校長)

防會館建築へ

有志の寄附殺到

八度、北山スキー場は舊正を 利用したスキー客多く、また ロケーションのため來古中の 満映の俳優等も加はり時なら は庭況を呈してスロープコン いが滑走は可能である

第七期候補生

米來の稱洲國軍を背負つて立 を命ず (一月二十九日) 本 ・いが滑走は可能である (率天鐵道局工務課保條係長 第七期候補生 新京支社鐵道課工務係主任 一月廿九月) 統 本業式舉行 本 本業式學行 本 本大鐵道局工務課保條係長 本天鐵道局工務課保條係長 本天鐵道局工務課金 本天鐵道局工務課金 本子鐵道局工務課金 本子鐵道局工務課金 本子鐵道局工務課金 本子鐵道局工務課金 本子鐵道局工務課金 本子鐵道局工務課金 本子鐵道局工務課金 本子鐵道局工務。

央陸軍訓練行所屬九十七名のつた、なほ卒業式に引續さ中は即日相前後して目的地に向 教京軍需學校各所屬の候補生

全滿鐵員

も參加

中央通署調査の 中央通署所務係の調査による 同署管内十二月末日現在戸數 は一萬二千二百五十五戸、人 口は男四萬三千二百十二人使計六 萬四千九百六十四人で民族別 は左の通。である 人内地人八、二〇三朝鮮人五 大力地人八、二〇三朝鮮人五

は自言第四回幹事會は二 目をひいてゐる 古中の傷病將兵負傷社員 一十六日午記十時から大連社員 一時期 會 が議せられるので各方面の注 が議せられるので各方面の注 お話せられるので各方面の注 お話せられるので各方面の注 お話せられるので各方面の注 お話せられるので各方面の注 お話せられるので各方面の注 おいてゐる

山東省生れ特別市大經路門牌 ですって

△人口 ■ 朝鮮、八六 一四女五、 和鮮人月六 五六大其他二人計

三八)は公司より苦力原劉興帝 (三八)は公司より苦力に仕物 か金二百七十圓を受取り賭博 で 費消支拂びに窮した率句目 で 費消支拂びに窮した率句目 が で 横寸用の硫黄を嚥下苦悶 中を妻女劉丁氏 (二七)が
現底ちに市立髂院で治療を加
たが四日午後三時頃死亡、

図都青年學校は文武共に充賞 対應すべく歩調を高めること

株式名義書換停止公告

より第五回定時株主總會終了の

川

萬藝節慶祝式

六日の萬壽節に首和警察廳で は午前九時半より本廳壽堂に 於て慶祝式を擧行する

間取

八帖、八帖、六帖、六帖廳接間サ 電氣、水道、瓦斯、慶房(海水)

所在。新京建和胡同一〇一號平家建

滿洲電信電話株式會社

顧に依り本職を免ず(各通)總局等事 高橋 降減 職場等 清水 長策

御用の方は電の一六六八番へ家賃、月額百二十五圓也

貸

フランスアバート

伊澤新理事赴任 京愛海路十四日大連上陸赴任 京愛海路十四日大連上陸赴任

室

御用の方は『話

(3) 五二四八番へ 次事場八浴場の設備あり

傷病兵慰問、合同体操學行

山口支社長赴奉 生日鐵會長

大連國連 北京に赴く日鐵書官岩井線 一三郎氏は前文相秘書官岩井線 一三郎氏は前文相秘書官岩井線 一三郎氏は前文相秘書官岩井等一手男氏と、もに四大官湯澤二手男氏と、もに四大官湯澤二手の大きが大きが、 松岡總裁東京發

【大連関通】東上中の松岡浦 鐵總銭は五日東京出設十日午 は帰車道の豫定

込で來る十三日午後二時より とゝて生徒一同素晴しい意氣 とゝて生徒一同素晴しい意氣 地球で惑星衝突 授のため四日午後來社

瞬危ふく免かる かつてよからう

犬の附屬品入荷

是非御川命下さい

ケヤ

签町三 電話(三)五二三六

【名古屋園通】政友會代議士 門下茂十郎氏は急性肺炎を愛 を五十九 ると幸か不幸か來客が大から さて机上に山積しまするぞ」と張切っ 丹下代議士急逝 東地副主任舊 大いに仕事 は大いに仕事

日本同でも地であ 金俊江西五馬路 西五馬路江=金汝



新京朝日通り六九領事館前

住 司法代書人八卷清泰事務 左記に移轉仕候間 新京特別市大經路五三號丸三ピル 此段

新電話 ②三九

五



シャム、印度等の東洋諸國に 代谷駐滿海軍部参謀長登壊、 大陸政策と海洋政策の不可分 性並に東洋諸國即ち佛領印度

日の

を要げて調達中であるがこれ ・臓じて左記市内有志者より 自一般後の赤誠の現れともい ・水できであると感謝してゐる ・水できであると感謝してゐる ・水できであると感謝してゐる

スキー便り 北山のス お粗末な市營住宅に

めた結果成績良好で減々出席 行くと在籍生徒の七割までが 出席するものに到ると見られ てゐる、しかるに就業時間多 でもの場不本意乍らも觖席する 者が相當の數にのぼつてゐる 張り切る青年學校

地球の運





次回後の 保險は大き こ五六三〇







節しかはつて浅葉周蓮の樹京賞

との日、長七郎、英之助南人との日、長七郎、英之助南人

銀行の松の間討は、實は個糸の温でた。その傷句。/

長七郎は、先づお似を駆はずに

ドトランク

御化粧の御指導を致しますホクサに最も適した化粧料を御撲び

ツバカに貴

*行

の御化粧料

発養クリ

輸出部 大阪市北區天神橋

タテ網れた、既是質の資から、思

を命用御に店門事

計

大

だいた長七郎。ア

やがて、風の中へその瞬の姿は、何者とも分りません。

武士は武士らしいが、この見り

さらで無いとも関らないぜ

·

すると、風のおばさんなる者の

他之助製情の手に、そ

で、知りませんよう

「いつ頃出かけたのでせる」

セックし様だったかと思ひます

新京東三条通咒番地

なうですか。どうも行

親したが、まさか御機付ちやなか した。

『すまねえ。有能のよ』

| 間の中へ。| | 系型に働かされてご

(八)

一度當店に御相談下さい 御滿足でない……時計は

時計を生かけは技術の力 何回修繕しても

ベラステステステステステステスデスデ

内

はてもろまたもちまたさ

ふぐちりを始めました 6 5

道 樂 5 4) 寄 寄 せ

4 5

所室新設

日本

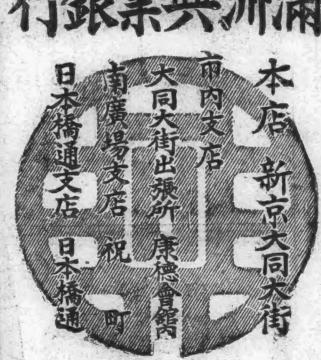
話們可 NT 八日 1 -

院隨意

電話

食

八番古地古



所 在 地

れ等は近鮮をしません。泣いて 殿風一過()

と形びやか 覚の手がかりです。

な泣き観が、鉄の下を添れて來ま 「あつ、人が感る。ちゃあ問んだ これ、少しだけれど 振り向いた兄の子へ、若干かの もう、かれこれ六ツ粉で、他国 数は見えません。一 になってなます。強しへ行ったも 戸口は、見だ釘を発込んだだけ

大都水

日本橋通二五

間 (3) (60) (60) (60)

及法律顧問民事刑事

般

法

務

之

事

辯護士

別

話日③通

二二八五

英之助は、戸口をまたいでき 「おい、香篇々々」と呼んでみま たりを見ると、火はには火の気も

大都クリ

ない。二人は、不安の概を見合せなり、分骸の支度もまだできてる

既なにを持つて來やがつたかな」

雅 館 ③ 二 八七三 和京三笠町一ノ二六

うむ、心かに聞いた。似之版の 聞いたか。いまの数……」

の、といつて、書付のやうな物を

んか」と英之助は歴越しに訪ねま 高發 最 級 油

舗老賣發總洲 洋田藤 會合

遊婆派 入院隨默

泄

Œ

齑

原

和

(分絕室、手術室、病室完備)

電話三・三一八〇

人科科

堀

山

醫

院

日滿民刑事訴託頌問及鑑定貸家貨地管理

熱害類作成日滿鮮通譯

滿洲國商標登錄

辯護士黑田實法律事務所

電話(3) 五四四九番京朝日通三十三番地方東部日通三十三番地

台寢種各 CANCESCOMO SECOMO SECOM

宇 茶

特製品カステー カネタ製麺麭工場 御 達

ラ

世帶道具の御用なら 信用ある當店で

27

賣受造剧

活紙和平 社资 銅式オ 一般セ 造版簿ツ 版引製印

新京日本橋颈七七四番地 行 D 即 物・部 = == ^ ^^ = == 刷 B ==

单

幕宣 ノ傳管 印 染呂 勝國 團 レ用 事 門敷ン幟旗旗旗旗 祝 時節柄進物用御染物は 大 経路十五 特に相談に應 營 電話(3)三九四 電話②四 じま 旗 一五一番 ナ

あ 3